

一般社団法人 ヘルスケア・データサイエンス研究所

研究助成 成果 **概要** 報告書

(成果・概要のいずれかに○をつけてください)

助成年度	2023 年度
本研究期間	2023 年 12 月 1 日～2024 年 7 月 31 日
氏名	莊司智和
所属機関名 (助成決定時)	山梨大学医学部附属病院 薬剤部
職位・学位	主任薬剤師・博士 (薬学)
研究タイトル	ベンジルペニシリンベンザチン筋注製剤の梅毒治療インパクトに関する研究
キーワード	梅毒、 <i>Treponema pallidum</i> 、ベンジルペニシリンベンザチン水和物筋注
研究概要	<p>梅毒は <i>Treponema pallidum</i> による代表的な性感染症である。梅毒治療の基本はペニシリン製剤の投与であり、ガイドラインでは「アモキシシリン内服」または「ベンジルペニシリンベンザチン水和物筋注」が梅毒治療の第一選択と記載されている。特に、ベンジルペニシリンベンザチン筋注製剤は医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬として使用できるようになった。同薬の登場により梅毒の治療様式に変化が起きた可能性があるが、リアルワールドデータを用いた近年の梅毒の治療実態報告は見当たらない。</p> <p>そこで、本研究ではレセプトデータを用いて経年的な梅毒の治療実態を調査することで、ベンジルペニシリンベンザチン筋注製剤が梅毒治療に与えた影響について調査する。</p>